

## 町内行事に防災エッセンスを ～本当の自治会をめざして～



広島県広島市A.CITY自治会  
防災専門委員 飯田 邦人

### 1 はじめに

A.CITYは、広島市郊外に位置する地上100mのタワーマンション2棟を含む大規模集合住宅です。分譲開始から20年以上が経過した現在、他地域と同じく世代交代や高齢化が緩やかに進行しています。

町内活動は盛んで住民有志で発足したA.CITY自治会が中心となって、季節行事や住民交流活動を行っていました。



防災クイズ

### 2 自治会活動の変化

近年、共働き家庭の増加・ライフスタイルの多様化により、地域活動に参加する顔ぶれが徐々に減少、固定化してきていました。週末の住民交流行事に参加できない家庭は、自治会に加入する意味がないと脱会します。この傾向を憂慮した自治会は、2014年に自治会の運営方針を大胆に変更しました。

「全ての住民の命を守る」を合言葉にこれまでの活動内容を一新し、災害に強い町をつくるための企画・提案・実施を行いました。

### 3 防災コンテンツの企画と実施

自治会は従来の住民交流行事はそのまま継続し、その中に防災クイズやワークショップ（目黒巻製作等）を組み込む手法を採用しました。

昼食を防災食にしたり、イベント会場には必ず防災ブースを設置し、住民に達



目黒巻に取り組む子どもたち



防災ブース



防災マップ



A・CITYオリジナル防災マニュアル



避難マグネットとご近所ミニネットワークチラシ



防災士養成講座の様子

和感を与えず、楽しく無理なく防災意識を啓蒙できるよう工夫しました。

また意識の改革だけではなく、防災ツール（マップ・マニュアル等）を全て自治会オリジナルで製作し、災害が起こった際にリーダーとなる人材が必要と考え、防災士の資格取得を自治会で奨励しました。

この活動により、防災士が町内に3名誕生しました。この実績を基にA・CITY自治会は、所属する社会福祉協議会に「防災士100人養成企画（防災士トリプルスリー計画）」を提案。2017年に採用され、近隣7町内会に約23名の防災士が新たに誕生しました。

#### 4 自治会のこれから

A・CITY自治会は現在、災害時に住

民のリーダーとなれるよう、防災士育成に注力しています。既に防災士の資格を取得した住民が中心となり、自治会オリジナル防災士養成講座を2018年4月に開講。毎月防災についての学習や訓練を行い、資格取得者のフォローを行っています。

2020年までに町内で30名以上の防災士輩出が目標です。

最終的には町内で100名以上の資格取得者を養成したいです。

「安心・安全・住んでみたい町」を自らでつくりあげ、有事の際でも住民自らが町を導き治めるのが本当の「自治会」であるとの理念を掲げ、これからも災害に強い町を目指し、次世代に継承してゆきます。